

師走の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員の皆様には大過なくお過ごしのこととお慶び申し上げます。早いもので令和4年も後1ヶ月を残すのみとなりましたが、今年も昨年同様コロナ狂騒曲に始まり、年末恒例の「第九」ならぬ「第八波コロナ大合唱？」で暮れようとしています。

国会では新型コロナを伝染病第2類からインフルエンザ等と同じ第5類に見直す動きがあり、私も無料だからこそ5回のワクチン接種を受けましたが、もし有料となり1回接種当たり1~2万円も掛かるとなれば、効果不明の注射等を受ける勇気はありません(笑)

そんな中ではありますが、2~3ヶ月前から自衛隊関連行事も徐々に復活して来ており、11月9日は京都で第2回高等工科大学全国生徒育成会理事会を、第2学年の近畿研修に併せて来京された富崎学校長のご臨席を仰ぎ開催致しました。

また23日は川南護国神社で恒例の空挺慰霊祭を、規模縮小でしたが遠路小倉駐屯地の中村第40連隊長のご陪席を賜り、地元出身の軍人及び旧陸軍空挺部隊併せて約2万数千余柱全ての御英霊に対して哀悼の誠を捧げ、厳かに齋行したところです。

ところで先月22日はシーガイアの「九州八県赤十字大会」、そして26日は明治神宮会館での「ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典」のご案内が届き、何れの式典にも皇族方がご来臨されると承り、大変愉しみにして参列させて頂きました。

しかし皆様も報道等でご存じの通り「九州八県赤十字大会」には、日本赤十字社名誉副総裁「寛人親王信子様」がご臨席予定のところ乳がん手術の為に欠席されまして、予後は順調との事で誠に慶賀の至りですが、本当に残念至極な事でした。

ところが「ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典」には、何と天皇皇后両陛下が壇上に上がり、大凡20mの至近距離から約1時間ご尊顔を拝見し感激した次第です。

私も大凡60年前にボーイスカウトの誓いを立てて入団し、第4回日本原、第5回朝霧高原の日本ジャンボリーや、第13回世界ジャンボリー等に参加した際、上皇陛下が当時皇太子で昭和天皇のご名代として会場にお見えになり、遠くから拝見した記憶があります。

平成28年に黄綬褒章受賞で皇居に参内し「春秋の間」で平成天皇の拝謁を受けた際、何故訳も無く込み上げて来たのかを今でも上手く説明することは出来ませんが、旧日本軍将兵が「天皇陛下万歳」と叫び、玉砕した理由が少しだけ理解出来るような気がしました。

さて別紙の如く、来年2月17日金曜日18時から「アートホテル宮崎スカイタワー」で宮崎支部総会を開催しますので、支部会員皆様のご出席をお待ち申し上げます。

令和4年12月1日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉和彦